



内子座 藝於遊



内子座保存修理工事いよいよ着工

令和7年2月3日、いよいよ約4年間にわたって予定されている内子座保存修理工事が始まりました。工期は令和7年1月18日から令和10年9月29日となっており、2月3日の着工までの間は、工事に着手するための諸手続きが進められました。

工事初日に始められたのは、内子座の周辺をフェンスで囲うこと。その後、内子座の東西にある板塀の解体が始まりました。修理後に復旧する際、どこにあったかがわかるよう、板塀一枚一枚に、柱一本一本に“番付札”と呼ばれる表示がとりつけられ、注意深く解体が進んでいきます。番付札はこの後のすべての工程で行われるとのことで、文化財の修理に時間がかかるのもうなずけます。



2月3日板塀解体の様子



内子座の現在の様子
(3月10日撮影)

令和6年度に予定されている主な工事の内容は次のとおりです。

- 板塀や庇、本家席入口や楽屋への渡り廊下の解体
- 空調架台の木製フェンスや空調機器(外部)の解体
- 衛生設備の一部解体
- 解体のための足場設置・撤去
- 保存小屋の設置
- 稲荷社の養生



本家席入口屋根から降ろされた瓦

これからの内子座保存修理工事

素屋根(※)がかけられると内子座の外観ともお別れです。工事の進捗を見ながら、工事見学会を開催したいと考えていますのでぜひご参加ください。

内子座 保存修理工事 スケジュール (2024~2028年度) (予定)	年度	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)
	工事区分					
足場・素屋根			組立	内部足場設置・撤去	素屋根解体	
木部			解体・調査	古材の補修・新材加工	復旧	
補強				基礎・耐震補強		
屋根			屋根解体・調査	補足瓦	復旧	
左官			土間・壁等解体		復旧	
建具			建具取り外し		復旧	
塗装					掻落し	塗直し
設備			電気・機械設備撤去		※公開活用事業で復旧	
その他	着手準備		解体・取り外し		復旧	

※素屋根：建物を風雨から守るために一時的につくる屋根のこと。